

実動対処班の役割

2024. 1. 17

原子力災害対策本部ERC実動対処班

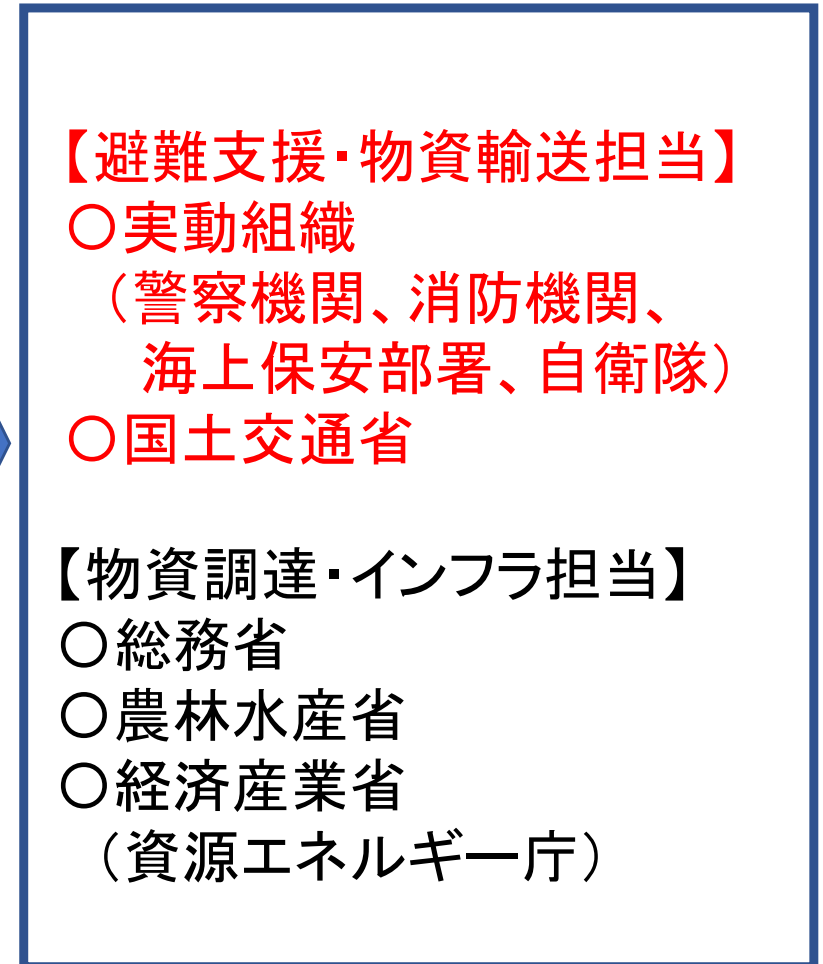
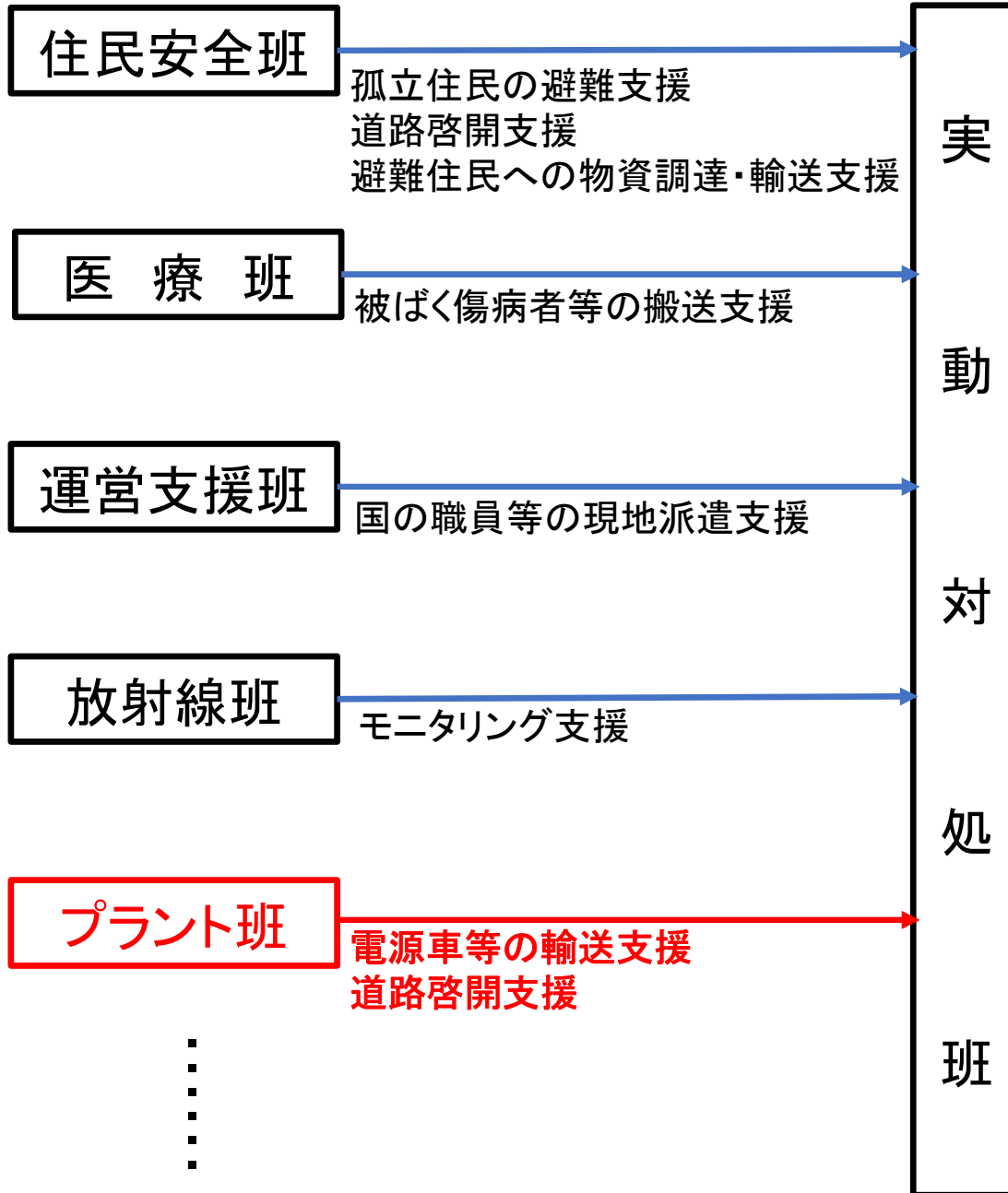
1 実動対処班の主な業務

- 緊急輸送ルート^①の確保及び変更に係る総合調整
- 避難支援・緊急輸送活動の総合調整及び計画の作成
- 被災道府県における物資需要の把握
- 需要・供給情報等を踏まえた物資調達に係る計画の作成
- 応援部隊の派遣調整

原災本部における総合調整のイメージ

【原災本部事務局等】

【関係省庁】



2 オンサイト事故収束活動に関する支援

○ 防災基本計画(P263)

原子力事業所における応急対策は原子力事業者の責任において実施すべきものであり、原子力事業者は応急対策に必要な資機材や実施手順等を予め整備する。

国【原子力防災会議事務局、原子力規制委員会、関係省庁】は、原子力事業者における整備状況を踏まえ、実動組織を含む関係機関による応急対策への支援について検討するものとする。

○ 原子力災害対策マニュアル(P102)

オンサイト対策は事業者の責任において実施すべきものであるが当該事業者だけでは十分な措置を講ずることができない場合には、……官邸チーム実動対処班は、実動組織を含む関係省庁との調整を行い、十分な安全確保を行った上で、それぞれの実動組織が対応可能であると認めた範囲内において、…オンサイト対策に係る調整等の対応を行う。

3 実動組織等の活動に係る課題

【敷地内作業の安全管理】

○ 原子力災害対策マニュアル(P103)

官邸チームプラント班は、実際の活動に際しては、事故収束活動の活動上の支援ニーズ、現場の放射線量、原子力事故の状況、放射線防護対策等について、関係機関を含め作業従事者に十分に情報を提供することに加え、原災現地本部や原子力事業所災害対策支援拠点と共同で、作業従事者の放射線防護上の管理を適切に行うとともに、救急専門医や産業医などの医師や診療放射線等による健康管理を行う体制を構築する。



実動組織による原発敷地内活動を想定した記載であり、不測の事態による活動に備え、平素から原子力事業者及びプラント班が実動対処班（及び関係省庁）と細部を詰める必要がある。

（敷地内における放射線防護対策や放射線防護上の管理とは・・・？）

3 実動組織等の活動に係る課題

【大型重量物の輸送】

オンサイト支援における輸送は大型重量物であることも多く、円滑な輸送のためには課題がある。

(例)

- ・ 輸送ヘリによる電源車輸送吊り下げに必要な特殊スリングの作成
- ・ 海上輸送における艦船への搭載の際のクレーンの手配



課題の抽出には実際に実動訓練を行うことが効果的。図上訓練のみでは見逃されやすい。訓練で抽出した課題及び対策は全国の電力事業者間で共有し、対策済とすることが肝要。